



プログラム名	キャンドルサービス	活動時間 1.5～2 時間
概要	<p>○キャンドルの火を囲んで、研修生の連帯感や親睦深める。 ○儀式や交歓を通して、集いの喜びを体験する。 ■1人 50 円</p>	
ねらい (SDGs)	 	<p>○男女関係なくキャンドルサービスを楽しみ、連帯意識を高め、友情を深めていく。</p> <p>○活動の中で人種、性別、障がいの有無に関係なくよりよい人間関係を育む。</p>
準備物	<p>○教育センター・・・小ろうそく（人数分）、大ろうそく（代表者分） 燭台、ブルーシート、手燭、ピック、 チャッカマン、衣装、放送機器 CD：遠き山に日は落ちて、燃えろよ燃えろ 星影さやかに、今日の日はさようなら</p>	
研修の流れ	<p>○集合場所に集合 ○第1部～第3部 ○片付け</p>	
研修場所	<p>集合場所 活動場所に同じ</p>	<p>活動場所 ○屋内・・・プレイホール 3－5 研 キャンプ場ロッジ</p>
引率者への留意点	<p>○事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を決める。（裏面参照） ・儀式の進行およびスタントの練習をする。 <p>○研修当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燭台を設置する際は、ブルーシートを敷く。 ・終了後、用具を片付ける。（燭台と手燭に付いた口は削り取る） ・火の取り扱いや火傷に注意する。 	

<p>研修内容</p> <p>必要な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者 ・ 火の神 ・ 女神 ・ 分火 ・ 放送 ・ 会場 	<p>【研修当日】</p> <p>○団体引率者との事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者会の時もしくはその後、衣装や用具をセンター職員から受け取る。 ・ 活動場所で、ブルーシートを敷き、燭台を設置する。 ・ 衣装を使う役割の研修生は着替える。 <p>○活動する研修室に集合する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燭台には針が付いているので十分注意する。 <p>○流れの例（各団体でオリジナルを工夫しても良い）</p> <p>第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめの言葉・・・「〇月〇日、友情と信頼の絆を確かめ合うために、ここに集まった〇〇のみなさん、ただいまからキャンドルの集いを始めます。まもなく聖火の入場です。」 ・ 火を迎える歌・・・「遠き山に日は落ちて、を歌いながら聖火を迎えましょう。1番を歌詞で、2番をハミングでお願いします。」 ・ 聖火入場（女神は聖火を持って円内をゆっくり1周して火の神の前で立ち止まる。火の神のロウソクに点火する。） ・ 分火・・・ただいま女神により、聖なる火が火の神の元に届けられました。この火をみなさんの代表に分火します。分火係は火の神の前に並んでください。 ※火の神は「あなたには〇〇の火を与えます」と、友情・協力・感謝・情熱・奉仕などの火に分火する。 ・ 誓いの言葉・・・分火された分火係は誓いの言葉を述べる。 ・ 点火・・・火の神の合図で点火をする。 ・ 集火・・・火の神と女神から順に、燭台の上からロウソクを移す。 ・ 火の神の言葉 ・ 「〇〇」を歌うか、詩を朗読する。 ・ 第1部が終了。火の神、女神が退場。 <p>第2部</p> <p>「今日の出会いがもっとすばらしいものになりますように、第2部で楽しい交流、交歓の集いに入りたいと思います。」</p> <p>第3部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女神の入場・・・「まだまだ名残は尽きないですが、予定されている時間も近づいて参りました。第3部に入ろうと思います。心を落ち着け『一日の終わり』を歌いましょう。女神の入場です。」 ・ 女神は、自分のロウソク以外の火を静かに消す。（複数で消しても良い） ・ 火の神の言葉 ・ 司会者の言葉 ・ 火の神と女神の退場・・・「今日の日はさようなら」を歌う。 <p>○片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燭台と手燭についたロウを削り取る。 ・ 燭台とブルーシートを片付ける。 ・ その他の用具を片付ける。 ・ 最後、モップがけをする。
---	---